

香美アートアニュアル vol.13 ー この時代を生きる力 ー

7月30日(水)～8月24日(日)

休館日：毎週月曜日 / 入館料：一般400円

※ 月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館

※ 市民の方は無料(住所が確認できるものをご提示ください)

【関連企画】 場所：展示室

① 館長または学芸員による作品解説

会期中毎日曜日 14時～

② 出品作家によるシンポジウム

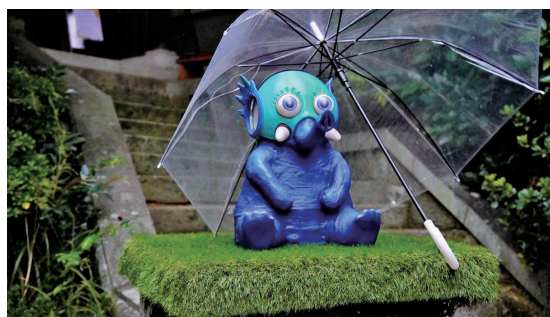
8月24日(日) 14時～16時



▲「肉塊の記憶」
センコウジヒナ 2023年



▲「インヘル/SHARE」
森本凌司 2023年



▲「ファントウくん」澤田亮 2024年

香美市立美術館

アートの窓



高知にゆかりのある若手アーティストを紹介する場として、2013年より続けてきた香美アートアニュアルの最後です。
刈谷舞花(作家)、澤田亮(造形作家)、センコウジヒナ(美術作家)、中平さやか(画家)、平野史恵(美術作家)、森本凌司(アーティスト)の6名の作品をご堪能ください。
(館長 都築房子)

◆ 一般投稿作品 ◆

広報委員会 選

ユルの栓ぬきて青葉の風おこる 明石 亜生
水澄みて夕日が映えるダム湖かな 五百蔵利美
梅雨晴れや「クツツカケタカ」とせかさされし 久保 和子
初夏の風の中へと試歩の杖 竹村 咲子
身を風にゆだね弧を描く稲穂かな 中村 定子
頼杖し二人して見る梅雨の庭 原 茂
物部川ブルーの夏よ発電所 前田 裕子
覚悟して猛暑受け身の傘寿かな 宮地 美代

◆ とさやまだファミリア ◆
ヒキガエルどこで歌うやゲロゲロゲ 岡林由利子
あじさいの花びら踊る降る雨に 昌 子
魅了さるあじさい色香酔いしれる 恵 美 子
あじさいにかかる虹色彩やかに クローバー
水無月の雨のあるのは当たり前 八王子小太郎

◆ 「清光」グループ ◆
朝寝して自分を祝ふ誕生日 秋山 英身
ほととぎす岬の寺の仁王像 井上 佐和
山笑ふ風媒花粉を巻きあげて 秋 星

枇杷の花甘い香りの散歩道 吉川 恵樹
目白来て土産話に梅ふふむ 明神かおり
夕雲は母しのぶ色柚子の花 山岸 孝子
運動会婆に届きし案内状 原 恭子
黄砂降る日は籠りゐる花粉症 杉山 明美
指先のまだ確かなり柿を剥く 前川 恵女
海に向く石の鳥居や大夕焼 中橋 京子
新緑や狭庭をさらに狭くして 山中 明美
花野道行けど行けども芒原 藤本すみ子
夏点前葉蓋の露は白茶巾 小松 美鶴
笠被り歩く遍路の伸びる影 上山このか
新緑や塩の道てふ父母の里 大場比奈子

◆ かほく俳句会 ◆
青草にこもる熱気や早梅雨 ひでり
水槽の自在の目高涼醸す かも
救急車とほく聞こゆる梅雨の夜 救急車
卯浪立つ土佐は女の強い國 うなみ
南天の花の黄色の小粒かな 野村 里史
三代代揃ふ茶の間のことろてん 古川 信子
白州邸待ち遠しきや五月雨 前田 桂子
梅雨らしき雨あり美味き酒もあり 宮崎ただし
更衣避難袋の中までを 山崎かずみ
万縁になりゆく速さ児の脳 なづき 山崎 鈴子

乾 真紀子
佐竹 洋子
津田吾燈人
塗本 幸利
野村 里史
古川 信子
前田 桂子
宮崎ただし
山崎かずみ
山崎 鈴子

今月のキラリ

広報委員会

梅雨晴れや「クツツカケタカ」とせかさされし
梅雨の最中の久々の梅雨晴れ。さて、外に出て用事をと思い靴を履こうとした時、ホトトギスが「クツツカケタカ」と鳴き、靴を早く履けと急かされたように感じた。作者はその情景を、ユーモアに溢れ楽しく詠まれた一句。なお、ホトトギスの鳴き声は「テッペンカケタカ」「特許許可局」などと聞きます。
【季語：梅雨晴(夏)】

身を風にゆだね弧を描く稲穂かな

土佐の極早稲は初夏の頃に穂が出る。豊かに実った稲穂を眺めていると、風が吹くたびに稲穂は弓なりに揺れ、ただただ、風に身をゆだねるのみである。作者の想いは深く遠く外つ国にまで及んでいるように感じる。詩情豊かに詠まれた一句。
【季語：稲穂(秋)】

ヒキガエルどこで歌うやゲロゲロゲ

突然眠気を覚ますように「ゲロゲロゲロ」と蟬の声。何処で鳴いているのか、外は暗くなっているのかわからない。いろいろ考えている間も「ゲロゲロゲロ」。作者はカタカナを使い、その情景を楽しくリズムカルに詠まれた一句。
【季語：蟬(ヒキガエル) (夏)】

俳句・短歌の投稿方法

▼ 投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。

▼ 俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。

掲載月の前月の1日までに投稿してください。

【投稿先】 総務課内広報委員会事務局【俳句・短歌】係
〒782-8501 (住所記載不要) FAX 53・5958

香美市から木のギフトを受け取られた皆さんからの感想、写真を募集しています。投稿者の氏名、写真、写真に映っている方の名前(ペンネームで構いません)と感想を、下のメールアドレスまでお送りください。



『木のギフト』お便り紹介

ちさとくん

素敵なギフトをありがとうございました。長く使えるものと思って椅子を選びましたが、まだ使うことが出来ておらず、普段はマザーズバッグ置きとなっています。久しぶりに部屋に出すと、嬉しそうに近づいてきました。本人が使える日が楽しみです。

香美市の赤ちゃんに『木のギフト』をプレゼントしています。詳しくは、新生児訪問の際にお渡しするパンフレットまたは、香美市ホームページ内の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】 農林課林政班 ☎ 52-9283 ✉ rinsei@city.kami.lg.jp

